

企 画 部 地 域 政 策 課

1 中心市街地活性化関係

(1) 中心市街地活性化基本計画関係

ア 中心市街地活性化基本計画の推進

「米子市中心市街地活性化基本計画」の推進について、下表のとおり会議を開催し検討を行った。

会 議 の 名 称	開催回数 (回)
米子市中心市街地活性化推進本部会議	2

イ 中心市街地総合情報発信事業の推進

中心市街地に関する様々な情報を広くインターネット等を通じて発信し、来街の動機付け及び生活利便性の向上を図ることにより、まちなかの活性化を推進した。

よなご・かえる通信ホームページの開設、かえる通信の発行 (1回)

ウ 米子市中心市街地活性化基本計画の変更申請

検討中の事業の計画がまとまったことによる事業の追加、国等の支援策を活用するための記載変更及び国の支援制度の変更に伴う支援策の名称変更をすることとしたため、変更申請 (第3回) を行い、平成23年3月31日付けで国の認定を受けた。

エ 都市再生整備計画の変更の届出

事業の実施時期を変更することとしたため、変更 (第1回) を行い、平成23年3月8日付けで国に受理された。

(2) 中心市街地活性化協議会への職員派遣

ア 中心市街地活性化協議会への職員派遣

平成19年12月21日に設立された中心市街地活性化協議会事務局に、引き続き市職員1名を派遣し、官民一体となって計画推進を図れる体制とした。

イ 中心市街地活性化協議会負担金

中心市街地活性化協議会の活動を支援するため、事務局経費の一部を負担した。

中心市街地活性化協議会事務局運営費負担金 2,731,848円

2 基地対策関係

(1) 美保基地周辺環境整備の調整及び促進を行った。

中国四国防衛局補助事業

特定防衛施設周辺整備調整交付金事業 2件

(2) 米子飛行場周辺地域振興協議会の開催

総 会 平成22年9月10日

3 米子空港滑走路延長 (2,500メートル化) 関係

米子空港滑走路延長事業に関する地元との調整は9月10日の地元協議会において、取組み状況と地域振興計画の進捗状況等について、説明と報告を行い了承された。

4 地方バス路線関係

(1) 生活バス路線を維持するため、生活路線維持費補助金の支出を行った。

日の丸自動車株式会社

区 分			路線数	補助額 (単位 ; 円)	
生活路線 維持費補助金	運行費 補助金	国県補助対策路線	広域幹線路線	6	24,533,819
			広域路線	6	20,506,354
			単市補助対象路線 (市内完結路線)	9	18,428,439
合 計			21	63,468,612	

日本交通株式会社

区 分			路線数	補助額 (単位 ; 円)	
生活路線 維持費補助金	運行費 補助金	国県補助対策路線	広域幹線路線	2	3,507,161
			広域路線	4	15,316,788
			単市補助対象路線 (市内完結路線)	6	16,707,693
合 計			12	35,531,642	

(2) 米子市循環バス (愛称 「だんだんバス」) 運行

路線バス活性化策の一助として、米子駅を発着し、大学病院など市内中心部を循環するコミュニティバスの運行を行った。

- ル ー ト 市内中心部 (米子駅→大学病院→ホープタウン前→天満屋前→ふれあいの里→高島屋前→米子駅) での一方向周りの循環運行
- 運行回数 平日25便、土・日、祝日23便 (始発8時～終発18時 : 25分間隔)
- 使用車両 市所有のノンステップバス (34人乗り) 2台
- 停留所 32箇所 (市が設置)
- 料 金 中学生以上1人1回150円、小学生100円、障がい者等50円、幼児無料
- 回数券 150円券11枚綴り 1500円 100円券11枚綴り 1000円
50円券11枚綴り 500円
- 運行方法 市とバス事業者が協定を結び、運行するバス事業者に対し、運賃経費から運行収入を控除した。いわゆる赤字額 (22年度 ; 11,664,431円) を市が補填した。
- 利用者数 総乗車人員135,062人
一日平均375.2人、一便平均15.4人 (幼児を含む)

(3) 米子市淀江町巡回バス (愛称 「どんぐりコロコロ」) 運行

路線バスの廃止代替として、淀江駅または米子東病院を発着し、米子市淀江町全域を巡回するコミュニティバスの運行を行った。

- ル ー ト 便ごとにルートが異なり、淀江駅、白鳳高校、マリ医院、米子東病院、イオン日吉津店等を巡回 1便あたりの所要時間 15分～58分
- 運行回数 平日・土曜10便、日、祝日運休 (始発8時5分～終発15時54分)
- 使用車両 バス事業者所有のワンステップバス (35人乗り) 1台
- 停留所 51箇所
- 料 金 中学生以上1人1回150円、小学生100円、障がい者等50円、幼児無料

回数券	150円券11枚綴り	1500円	100円券11枚綴り	1000円
	50円券11枚綴り	500円		
運行方法	市がバス事業者に運行を委託し、運行経費から運賃収入を控除したいわゆる赤字額（22年度；8,687,121円）を委託料として支払った。			
利用者数	総乗車人員11,164人、 一日平均37.8人、一便平均3.8人（幼児を含む）			

(4) 米子市地域公共交通会議の開催

本市における生活交通に関連する事項について、道路運送法の規定に基づく米子市地域公共交通会議において検討した。

構成 学歴経験者2名、事業者の組織する団体1名、バス事業者2名、住民又は利用者の代表6名、
運転手を組織する団体1名、中国運輸局1名、警察1名、市職員1名 計15名

開催日 第1回 平成23年1月27日

5 鉄道関係

- (1) 山陰本線、福知山線の複線電化等について「山陰本線・福知山線複線電化促進期成同盟会」を通じて要望活動を行った。
- (2) JR利用に関わる諸問題について、JR西日本米子支社との調整を行った。
- (3) JR淀江駅前公衆便所の維持管理

6 航空路線関係

- (1) 空港利用者の利便性向上のため、鳥取県、境港市との共同で米子空港駐車場を運営し、駐車場無料化を継続するとともに、米子空港駅待合所の維持管理を行った。
- (2) 平成22年4月7日の米子空港利用促進懇話会総会において空港利用促進を目的とし、米子空港の愛称を「米子鬼太郎空港」とすることとなり、4月26日に命名式、7月24日に「米子空港利用促進懇話会」を通じ、米子鬼太郎空港命名記念イベントを開催した。
- (3) 平成22年3月に米子一名古屋線を運行する航空会社より路線廃止の申し出があったが、山陰で唯一中京圏域を結ぶ重要な路線であることから、路線維持、継続について関係機関とともに要望活動を実施。
また、中京圏域における路線、観光PR、利用者への支援等「米子空港利用促進懇話会」を通じ実施し搭乗率も改善したが、平成23年1月4日をもって「米子一名古屋線」は休止となった。
- (4) 米子空港の利用促進活動について、「米子空港利用促進懇話会」を通じ各種利用促進活動、PR活動等を行った。

ア 平成22年8月7日～9月5日

中京地区への観光宣伝活動として、名古屋市内で開催された「妖怪フェスティバル」に観光ブースを設置し、鳥取県観光と米子一名古屋線をPRした。

イ 平成22年10月23日

「空の日」の記念行事として行われる「米子空港まつり」を関係団体とともに開催した。

ウ 平成23年2月24日

首都圏への観光宣伝活動として、東京で「山陰の古事記にしえのロマン謎解き」講演会を開催し、山陰の食と観光のPRを行った。

エ 米子空港2500m化1周年を記念し、山陰初となるB-747ジャンボ機を使用したハワイチャーター便の支援をはじめ、国際チャーター便の運行支援を行った。

7 通信関係

通信業務の円滑な事業推進を図るため、関係諸団体との調整を行った。

アナログテレビ放送が終了し地上デジタル放送へ完全移行することに関して、各関係課との調整を行うとともに市民への広報に務めた。

総務省鳥取県テレビ受信者支援センターの市内全域を対象とした戸別説明に協力するとともに、総務省地デジチューナー支援実施センターが行う低所得者へのチューナー支援事業に協力した。

8 水源対策関係

(1) 賀祥ダム建設工事に係る水道局企業会計の負担に対し、次のとおり費用負担を行った。

ア 水道事業出資金 59,036,217円

イ 水道事業補助金 11,913,930円

(2) 新良路地区飲用水給水設備の修繕を行った。

(3) 旧淀江町簡易水道事業に係る水道事業債償還金の一部について、次のとおり費用負担を行った。

ア 水道事業出資金 3,616,396円

イ 水道事業補助金 1,823,290円

9 高等教育機関連携事業

(1) 高等教育機関の充実発展への支援

米子工業高等専門学校との発展と産学連携の強化を目的に、様々な事業を実施している米子工業高等専門学校振興協力会の活動に対し、引き続き協力した。

平成22年度振興協力会活動内容

ア 講演会・技術交流会（平成23年2月17日）

イ 産官学連携推進のための調査研究支援

ウ 共同研究支援

(2) 高等教育機関との連携の強化

鳥取大学医学部の連絡協議会を開催し、鳥取大学と米子市との連携のあり方、今後の方向性等について意見交換を行った。（平成22年6月24日開催）

10 交通バリアフリー推進協議会の設置関係

「米子市交通バリアフリー基本構想」（平成21年2月策定）で定めた各種事業の推進状況を評価、検討を目的とした「米子市交通バリアフリー化推進協議会」を開催した。

「米子市交通バリアフリー化推進協議会」の開催

開催日：平成23年2月7日

11 米子駅バリアフリー化の促進

米子駅のバリアフリー化に伴い、エレベーター、エスカレーター及び多目的トイレの整備が完了した。

平成22年度米子市負担金 721,559,301円